

# 5. 「現場力をもっと高めるための治具設計」

本講座では、間違っただけの治具設計をしないよう、治具設計の基礎を解りやすく解説するとともに、簡単な計算式で設計計算できるよう、その手法を解説します。また、治具設計における「陥りやすい過ち」と、「治具設計の勘所」などについて例示し、基礎知識を深めていただきます。治具設計技術者としてベテランの技術者と同様にQ・C・D(品質・コスト・納期)を重視した設計が可能になります。また、講座の中で各社の治具に関する悩み事項についてケースワークとして議論し、解決策のヒントを見出すとともに、治具設計に関する理解を深めます。

**Point!**

- Q・C・D を踏まえた設計実現
- 実際の悩みに応え、解決策模索



主 催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 参加費：MRO 賛助会員 6,000 円（一般：8,000 円）  
 会 場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110  
 募集人員：15 名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日 程 (2 日間コース)

研修内容

7/2(金)	1. 商品化における治具設計のポジション
7/9(金)	2. 治具設計技術者の基礎知識
10:00 ~ 16:00	(1) 位置決めと自由度 (基準定めの基本的方法) (2) 平面と穴で基準定めする場合の計算 (3) 治具を用いて加工した場合に起こる誤差の概念 (4) 治具の取付要素の構造 (5) 締付機構の構造
	3. 治具設計の勘所
	(1) 治具設計のアイデア (例または応用例、事例) (2) 治具設計の勘所 <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 治具部品は作るより買うほうが安い</li> <li>b. ひとつでも多くのメカを頭に入れよ</li> <li>c. 方法は一つではない (最適な方法、具体策)</li> <li>d. 陥りやすい過ちと対処法</li> </ul>
	4. 素材加工要素の種類概要と各種加工方案
	5. 各社の困りごとに関して、改善策の討議

\* 講師プロフィール

酒庭秀康 (MRO コーディネーター) 新潟大学大学院 (工学研究科機械工学専攻) 修了  
 経歴：三洋電機(株)コンプレッサ事業部 技術開発、生産技術、(株)ぐんま産業高度化センター 技術相談、機械工学全般ほかに著作「現場で役立つモノづくりのための治具設計」(日刊工業新聞社刊)、斎藤勝政、渡邊強 共著「ベテラン技術者が教える機械加工現場ノウハウ 100 選」(日刊工業新聞社刊)  
 竹内光男 (MRO コーディネーター、群馬県能力開発協会 人材育成コーディネーター) 群馬大学 (機械工学科) 卒  
 経歴：マックス(株)生産技術、品質保証、生産工程～実用化の仕組み作り、企業内小集団活動と組織活性化

受講料について

- 受講申込時に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間までは受講料全額を返還します。1 週間以内の場合は全額を頂戴します。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段でお願いします。注) 1 週間：MRO (当財団) の 6 勤務日前 17 時までとします。

● 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 tel : 0276-50-2100、fax : 0276-50-2110、E-Mail : kenshu@mro.or.jp

## 5. 「現場力をもっと高めるための治具設計」受講申込書

ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
ご芳名 (ふりがな) :	所属	役職
会社名	住所 〒	
TEL	FAX	E-Mail